

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
国際経済論	共通 経営情報学科	3・4年生・後期	2単位	選択	甘 長青
履修の前提条件	①国際経済、中国・アジアの経済や貿易・投資について関心を持っていること、②配布資料・参考書の予習・復習にしっかり取り組むこと、などが履修の前提条件。 ※禁止事項：私語のほか、正当な理由のない遅刻、許可のない入・退室、携帯電話・イヤホンの使用、およびその他の教員が指定する不良受講行為。				
授業概要 (Course Outline)					
国際経済、中国を中心とする日本を含むアジアの経済や貿易・投資について、様々な角度からその現状と課題を複眼的に考察する。学生諸君が1978年末に改革開放路線に転じて以来の中国経済の全貌や、日米韓などの経済関係を一定程度理解できるように進める。					
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture				○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening				
	数量的スキル Mathematics				
	情報リテラシー Information Literacy				○
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				○
	問題解決力 Problem Solving				○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy				○
	自己管理能力 Self-management				○
	チームワーク Teamwork				
	リーダーシップ Leadership				
	倫理観 Ethical Sense				
	市民としての社会的責任 Social Responsibility				
	生涯学習力 Lifelong Learning				○
到達目標 (Objectives)					
中国やアジアの経済や貿易・投資の現状と課題を理解し、より専門的な学習の橋渡しになること、並びに今後の就職や経済活動に役立つことをめざす。					
事前学習の内容	授業の前に、かならず参考書・配布資料の該当部分を熟読しておくこと。				
事後学習の内容	授業の後に、講義内容について参考書・配布資料を読み直すこと。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
①学生の氏名で呼び、質問したり、また質問を受け付けたりなど対話型の授業を心がける。 ②授業時間外においても、研究室またはE-mailで学生の質問を受け付ける。 ③中間テストを行い、採点したうえで学生に返す。学生のわからないところを把握し、わかりやすく解説する。なお、中間テスト時、学生の感じたことや意見などを自由に書く欄を設け、かれらの要望などに最大限対応する。					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
c-gan@kiis.ac.jp まで気軽にメールを寄せてください。 なお、緊急時は、いつでも研究室(357)まで訪ねてきてください。					
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
外部試験：中国語能力検定試験(日本でされるもの)の受験を促す。試験結果を成績評価の対象とする。 試験日時・場所に関しては、公開試験が行われる福岡市内の公開試験会場の利用を勧める。 学習の確認：ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、定期試験終了日までに甘までメールで提出してください。					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	世界第2位の経済大国・中国の現状		
第2回	中国がいう「社会主義市場経済」とは何か		
第3回	メイド・イン・チャイナは世界市場を席卷し続けるのか		
第4回	中国の国有企業改革はどこまで進んだか		
第5回	改革後の中国農村はいかに変化したのか		
第6回	中国の労働力は不足、それとも余っているのか		
第7回	中国は世界最大の資本輸出国の地位を維持できるのか		
第8回	中間テスト		
第9回	外需依存型成長から内需(消費)主導型成長に転換できるのか		
第10回	外資は中国に何をもたらしたのか		
第11回	米中両国の経済依存関係はどうなっているのか		
第12回	日中関係はいかにあるべきか		
第13回	中国経済は今後も安定的に成長できるのか		
第14回	中国経済の成長の果実は誰の手に		
第15回	外国為替決済メカニズムと外国為替市場		
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
特定の教科書を使用しない(レジュメを配布する予定)			
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
『中国経済入門』2016年12月第4版	南亮進・牧野文夫	日本評論社	978-4-535-55866-3 定価(本体2600円+税)
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
定期試験(持ち込み不可)を実施する。出席回数が全体の3分の2未満(つまり5回以上欠席)の者には受験資格を許可しない。成績評価は、中間テストの成績をも考慮する(中間テストの配分割合は50%)。母語が中国語でない者が日本国内で中国語の能力検定試験に合格した場合、難易度を考慮し、5~15点を加算する。			